

感染拡大防止に検査拡大を 新型コロナ第5次要望

日本共産党岡山市議団
は8月7日、新型コロナ対策で、市長に第5次要望を渡し、懇談しました。この間、商工団体や医療機関、県政市政報告会などで寄せられた声や実情を取り

まとめたものです。
要望は▼「誰でもいつでも何度でも」できるPCR検査で感染拡大抑止
▼地域経済への長期的視点での支援▼誰ひとり見捨てない生活支援▼災害時の感染対策▼学校での少人数学級の実現▼不要不急の事業をやめて財源確保の6点です。

九州豪雨災害支援に派遣する市職員に、市は健康観察しか行いません。党市議団はPCR検査を受けたいことを求めています。

市長は8月24日、PCR検査を医療・介護・福祉・保育等の職員に拡げると表明しました。ただ、風邪などの症状が条件です。

ひとこと

来年度でさまざまな市の政策が改訂されます。そのため審議会などの傍聴に行っています。次期介護保険計画は2040年を視野に入れてつくりまします。国は、2040年には団塊ジュニアが高齢者になり、労働人口がますます減るといふ暗い未来を描き、負担増や給付減しか打ち出しません。あたたかい社会づくりがコロナとたたかい、暗い未来を変える道です。(東つよし)



要望を渡す日本共産党岡山市議団 (東市議は右から4番目)

核兵器禁止条約 政府に批准迫ろう

原爆投下から75年。東市議は8月6日に東山の原爆被爆死没者供養塔の前で被爆者の方々らとともに8時15分に黙祷、献花しました。

核兵器禁止条約の批准国は8



献花する東市議

月で44カ国に広がりました。条約発効まであと6カ国です。日本政府は条約に背をむけるのではなく、核兵器のない世界をつくるために、唯一の戦争被爆国として条約を批准することこそが必要です。

奔西走



9月議会
東つよし市議の代表質問
9月8日(火)午後1時半頃

日本共産党岡山市議団を代表しての質問です。市議会HPからネット視聴ができます。